

わかやまキッズ法廷2022

—来て見て感じる！裁判所—

開催報告

令和4年8月24日（水）、和歌山地方・家庭裁判所において小学校高学年向け体験型広報イベント「わかやまキッズ法廷2022 -来て見て感じる！裁判所-」を開催しました。

同イベントは新型コロナウイルス感染症の拡大状況に伴い過去2年間開催できませんでしたが、今回3年振りに開催することができ、事前に申込をいただいた小学校6年生20名とその保護者の方にご参加いただきました。ここでは当日の活気あふれた様子をお伝えします！

1 限目 裁判所の謎を解こう◎

最初にイベントの日程や注意事項を聞いたあと、早速1限目に突入。後ほど行う模擬裁判の役に分かれ、まずは同じグループ内で交流を深めるために自己紹介を行ってもらいました。

その後は裁判所にまつわるクイズコーナーへ。自己紹介で交流を深めた仲間と、4択問題にチャレンジしてもらいました。今まであまり裁判所について詳しく考える機会は多くなかったのではないかと思います。グループの仲間と協力して意見を出し合い、それぞれ結論にたどり着いている様子でした。

2 限目 裁判をやってみよう！～審理～

続いてはメインイベントの模擬裁判へ。普段実際に裁判が行われている裁判員法廷に移動し、参加者の皆さんに裁判官、検察官、弁護士それぞれの役を演じてもらいました。

模擬裁判の中では、被告人に加え証人も登場し、それぞれの話に耳を傾けたり、質問をしたりしていました。慣れない裁判という場で、時には難しい言葉や言い回しもあったとは思いますが、解説のペーパー等を参考にしながら、熱心に取り組んでいたのが印象的でした。



裁判所ナビゲーター さいたん

2 限目 裁判をやってみよう！～評議・判決～

審理の後は各グループごとに分かれての評議の時間へ。今回は裁判官グループのみならず、検察官グループや弁護士グループも、裁判官になったつもりで被告人が有罪か無罪か考えました。また評議の進行は当庁の裁判官が行い、実際の評議の雰囲気を感じながら、参加者の皆さんそれぞれの意見を出してもらいました。

評議の後は再び法廷に戻り、グループの代表者による判決言渡へ。各グループが悩み抜いて出した結論を、代表の方に堂々と述べてもらいました。



3・4 限目 裁判官と話そう♪&記念撮影

模擬裁判が一通り終了した後は、参加者の皆さんから裁判官への質問タイムの時間に。裁判官に直接質問できるなかなか無い機会ということもあり、皆さんから積極的に質問が飛び交ってとても盛り上がりました。

またイベントの最後には、裁判官が法廷で着用する法服を着ての記念撮影の時間も設け、希望者の方にご参加いただきました。笑顔で法服を着て裁判官になりきる参加者の皆さんの姿がとても輝いていて、楽しんでいただけたようでした。



さいくん



今回のイベントを通じて、少しでも裁判所のことを身近に感じてもらえたり、裁判所のことに詳しくなってもらえたらうれしく思います。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！



家庭裁判所キャラクター

かーくん